



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和5年11月17日
文責：校長 江上 知男

「町人権教育授業研究会」が開催されました！



学習の様子

11月8日(水)の午後、町内の先生方に参加いただき、人権教育の授業研究会が行われました(東小でも中学校でも同時刻に授業公開)。本校で授業を公開したのは、5年2組と担任の宗像佑子先生で、「ぼくもにげるのはやめます」という題材で学習しました。

教材の内容は、「ある6年生の物語」です。担任教師の「子どもの頃に『仲間外し』された経験」を知ったり、級友のまこと君の「大好きなサッカークラブに通えなくなった本当の理由」を聞いたりすることをきっかけに、主人公が「自分の家族状況を見つめなおし、自分が置かれた困難な状況に向き合っていこう」と決心するお話でした。

5年2組の子どもたちは、「辛いことを乗り越えた先生なんだな」「家の手伝いは嫌だけど、まこと君のことを知って少しは手伝おうと思った」などの感想を発表していました。そして、「自分も家族のためにもっと役立つことをしていきたい」「今、ニコニコしている人も実は悩みがあるかもしれないから、自分から心配りできるようになりたい」「友達のことを冷やかされて何も言い返せないでいたけど、次からは『何がいけないの』と言い返せるようになりたい」など、とても前向きな意見が出されました。子どもたちは、自分の生活に向き合い自分の思いを伝えることで、自分を理解してもらうことができ、「周り」と深くつながることができると気付いたようです。

私は、人権学習をとおして、子どもたちに「何が正しいのか。何がおかしいのか」という【ものさし】を心の中に作って欲しいと考えています。そして、日頃の生活における自分の行動や心の動きを、人権学習で培った【ものさし】と照らし合わせ、振り返って欲しいのです。その繰り返しが、「差別をしない・許さない」大人になるための成長につながると信じています。

5年生は、その後も人権学習を進め、「つながる」ことで学級を高めていく取組を続けています。他の学年も学級の課題に合った学習を進めているところです。

残念ながら「臨時休校」になってしまいました！

11月13日(月)の朝、出張で県外にいた私の携帯に「本日、インフルエンザが爆発的に増えています。学校全体です。緊急に全学級の情報把握中です。」という教頭先生からの連絡…「すぐにでも飛行機に飛び乗りたい」気分になりました。その後は、3日間の休校を決定し、あんしんメールにてお知らせしたとおりです。結果的に90名ほどの欠席者、30名ほどの体調不良者がありました。

学校では、すぐに学年主任会を開き、今後の対応を話し合いました。課題は次の2点でした。

- ①「学級閉鎖等も続いた中で、学年の学習がきちんと終わるのか」について、各学年とも「大丈夫」であることを確認しました。ただ、「先生たちの事務整理時間」を「授業時間」に変更しました。
- ②「行事期日の変更」について、11月17日(本日)の予定だった3・4・6年の学習発表会を、4・6年は11月22日(水)、3年は11月24日(金)に変更しました。どうかご理解ください。